

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



7月のアルミ概況および8月の見通し(2)

予想レンジ

LME現物後場買い	2200-2500ドル	●
スクラップ	0~-5円(前月最終価格より)	●
為替	135円~139円	円高

(1か月間TTM)

国内概況まとめ

【自動車】

【自動車生産】

生産動態統計によると6月の自動車生産台数は前年比-9.8%の62万6,372台。輸出は前年同月比-15.8%の28万5,761台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると7月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-13.4%の21万4,134台。

内訳は、乗用車が-12.3%、貨物が-20.1%、バスは-37.2%。

【住宅着工戸数】

6月の新設住宅着工は、貸家及び分譲住宅は増加したが、持家が減少したため、全体で前年同月比2.2%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.1%の増加となった。

○新設住宅着工戸数は74,596戸。前年同月比2.2%減、2か月連続の減少。

○新設住宅着工床面積は6,027千㎡。前年同月比4.2%減、2か月連続の減少。

○季節調整済年率換算値では845千戸。前月比2.1%増、3か月ぶりの増加。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-5.1%の15万9,531tで3か月連続マイナス。

板類は9万9,383tの-4.8%で2か月連続マイナス。

押出類は6万148tの-5.7%で6か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は-18.7%の5万8,788tで10か月連続マイナス。

出荷は-17.3%の6万414tで10か月連続マイナス。

いまだ回復の道筋の見えない自動車生産につれてアルミ合金需要も足踏みが続いている。

【輸出】

新地金は-22.5%の93t。2次合金-23.7%の1,681t。

スクラップ+37.2%の3万9,388t。アルミ缶-43.1%5,122t。

【輸入】

新地金-15.1%13万712t。2次合金+4.6%の9万2,040t。

スクラップ+9.8%の685t。合金スクラップ+65%の7,480t。

【見通し】

【自動車】

6月の自動車生産が-9.8%。7月国内販売台数が前年比-15.8%。7か月連続生産、販売共に大幅減少。前月に続き上海のロックダウンによる半導体以外にも中国からの部品供給の遅れとのことさらに米の台湾訪問による米中関係悪化による更なる遅れを危惧。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,400-2,500ドルと下落したが自動車生産減から売りにくく、さりとて入荷も少なそう。需要面に関しては上海のロックダウン解除後もサプライチェーンが不安定である事から自動車生産住宅着工も振るわず、需給は緩んだままではないか?

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米欧の金融政策 ②米中関係の悪化。

①に関しては、引き締め一辺倒であったFRBがここ最近の経済指標からやや中立にシフトしてとの見解もあるが次回はまた0.75%を維持するのではないか。

②に関しては、ペロシ米下院議長、米大統領の継承順位2位の下院議長による台湾訪問は25年ぶりに訪問。米国の長年の政策である「一つの中国政策」を損なうものではないと表明。「この訪問が危機や紛争に拍車をかける理由にはならない」とし、米国が中国の脅威や好戦的なレトリックに脅かされることはないと言った。ただ、中国は訪問事態に反発、台湾向け砂輸出停止などを行っている。これ以上の悪化はないのではないかと。

これらを踏まえた3月のアルミ価格は2,200-2,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は135円~139円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては、据置から-5円程度と予想している。(おわり)

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHGITAKI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521-1530

東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800

名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005

海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>